



DS Implants™

## 補綴マニュアル

DS プライムテーパー インプラント

このマニュアルは、少なくとも基本的な補綴やクリニック内インプラントの訓練を受けた臨床医が理解しやすいように作成されています。継続した教育を通して、インプラント歯科の最新のトレンドと治療技術を取り入れることは臨床医の責務です。

すべての製品が、すべてのマーケットで規制をクリアしている / 発売されている / 使用許諾が与えられているわけではありません。現在の製品の品揃えと在庫状況については、現地の Dentsply Sirona 営業所を問い合わせください。

お客様が読みやすいように、Dentsply Sirona では本文中に® や™ を使用していません。しかし、Dentsply Sirona は商標に対するいかなる権利も放棄せず、いかなる内容も逆に解釈されないものとします。いずれの商標や社名も、それらの所有者の所有物です。

製品のイラストは正確な縮尺ではありません。

# 目次

## 1. 各種の補綴物のご紹介

カラーコード .....	4
補綴手順 .....	5
インプラント - アバットメント接続 .....	5
推奨トルク .....	6
トルクガイド - 推奨取り付けトルクと締め付けトルク .....	6

## 2. 治療計画

従来の治療計画 .....	7
コンピュータガイド治療計画 .....	7

## 3. 印象手順

インプラントレベルの印象 .....	8
インプラントピックアップ .....	8
インプラントトランスファー .....	9
インプラントレプリカ .....	10

## 4. セメント固定修復物

アバットメントの概要 .....	11
暫間修復手順 .....	12
テンプアバットメントEV .....	12
最終修復物製作 .....	14
タイデザインEV .....	14
Ti ベースEV .....	15

## 5. スクリュー固定修復物

アバットメントの概要 .....	17
暫間修復手順 .....	18
テンプアバットメントEV .....	18
テンプデザインEV .....	19
最終修復物製作 .....	20
マルチベースアバットメントEV .....	20
ストレートアバットメント接続 .....	20
30° アバットメント接続 .....	21
マルチベースピックアップ .....	22
マルチベースEVレプリカ .....	23
テンポラリーシリンダー .....	24
セミパーニアウトシリンダー .....	26
TiベースEV .....	28

## 6. フリクション固定式補綴物

アバットメントの概要 .....	30
アバットメント接続 .....	31
コノメトリックアバットメントEV .....	31
即時暫間補綴 .....	32
コノメトリックテンポラリーキャップ .....	32
コノメトリックヒーリングキャップ .....	32
クローズドトレイ印象 .....	33
コノメトリックインプレッションキャップ .....	33
最終補綴物製作 .....	34
コノメトリックアナログ .....	34
コノメトリックラボキャップ .....	34
コノメトリックファイナルキャップ .....	35
クラウンの装着 .....	36
コノメトリックフィクセーションツールチップコンボックス .....	36

## 7. 付録

トルクレンチEV .....	37
調整ガイドライン .....	38
タイデザインEV .....	38






# 1. 各種の補綴物のご紹介

## カラーコード

各種の補綴物について、色分け、マーキング、幾何学的デザインが施されており、対応するコンポーネントを正確に識別することができます。

各インプラント-アバットメントの接続部サイズは、色分けされています。  
この色はコンポーネントや機器、そして必要に応じてパッケージや情報資料に直接適用されます。

在庫コンポーネントとそれらの各パッケージは色分けされています。

PrimeTaper EV	Ø3.0 mm	Ø3.6 mm	Ø4.2 mm	Ø4.8 mm	Ø5.4 mm
EV 接続部					

## 補綴手順

次の章では、EV 接続部を備えたインプラントの補綴手順について詳しく説明しています。

修復物はインプラントまたはアバットメントレベルから構築可能です。

アバットメントによって、機能を保ちつつ歯を交換でき、インプラントにかかる力を軽減することで荷重リスクを最小限に抑えます。

アバットメントの選択時には、以下の点に注意してください。

- 臨床応用 - 単歯欠損、部分欠損、または完全に無歯顎の状況
- 修復の種類 - 技術と材料
- インプラントレベルまたはアバットメントレベルの印象
- 前歯部または臼歯部の位置
- 審美的な要求
- インプラントの角度
- 軟組織の状態
- 咬合面と歯間の隙間
- 隣接歯

### 方向

以下に示す順序は、さまざまな修復段階を示しています。説明されている治療手順の段階は黄色で強調表示されます。



## インプラント - アバットメント接続部 - EV 接続部

インプラントには独自のインターフェイスがあり、アバットメントの配置/インデックスについて3つの異なるオプションを提供します。



### アバットメントの配置/インデックスオプション

#### 1ポジションのみ

アトランティスの患者別アバットメントは1つの位置にのみ装着されます。



#### 6つのポジション

インデックスのあるアバットメントは6つの利用可能な位置に装着されます。



#### インデックスなし

インデックスのないアバットメントは、任意の回転位置に設置されます。

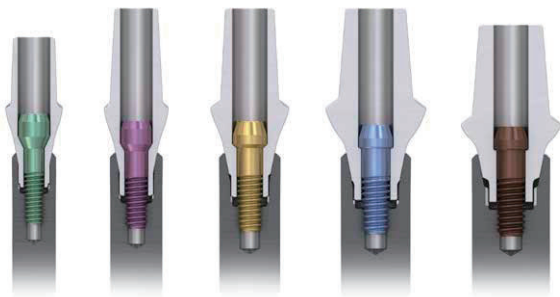


## 推奨トルク







すべての最終アバットメントは、均一なトルク (25 Ncm) になるようにデザインされています。

臨床上の状況により、暫間アバットメントのトルクは15 Ncmで締め付けてください。

ブリッジスクリューには、15 Ncmで締め付けてください。



## トルクガイド - 推奨取り付けトルクと締め付けトルク

取り付けする製品の種類	トルク - Ncm
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 暫間アバットメント</li> <li>■ 全レベルでの仮修復</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">15 Ncm</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最終アバットメント</li> <li>■ インプラントレベルでの単一歯の修復</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">25 Ncm</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アバットメントレベルでの最終修復物</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">15 Ncm</p>

## 2. 治療計画

術前計画は、修復治療について予測される結果に基づく必要があります。したがって、治療計画には、治癒時間とコンポーネントから暫間／最終修復物に至るまで、処置のすべての段階を含める必要があります。

治療計画では、患者との包括的な相談に基づき、患者が治療に何を望んでいるのか、何を期待しているのかを正確に判断するだけでなく、考えられる禁忌症を見出したり、患者に治療について詳しく説明したりします。

続いて、一般のおよび具体的な全病歴の聴取と、初期の解剖学的状況の分析を伴う口腔内検査が行われます。

以下の点を考慮する必要があります。

- 病歴・歯科歴
- 診断全般 - 禁忌症の除外
- 危険因子に関する専門家との相談
- 一般レントゲン検査を含む口腔内精密検査

検査および診断文書の評価の後に治療計画を作成する必要があります。

最終的な治療アプローチは手術時に決定される場合がありますが、支持骨の質とインプラントの予想される初期安定性に基づいて以下のことを考慮してください。

- 1回法または2回法の外科的処置
- 即時または早期荷重プロトコル
- 荷重前の予想治癒時間

症例ごとにインプラント荷重までの時間を決定する際には、以下の点を注意深く調べて評価します。

- 骨の質と量
- 一次安定性
- 修復物のデザイン
- 荷重条件

治療開始前に、患者は術前検査の結果について知らされ、予想される結果、メンテナンスの必要性、関連リスクなど、計画された治療に関する内容について明確な説明を受ける必要があります。

治療の長期的成功には、全インプラント手順についての正確な計画が不可欠です。計画過程では、全操作を定義し、インプラントと補綴物のリハビリテーションの機能と審美性に関する患者の期待を満たすことができる代替案を挙げておきます。

### 従来の治療計画

失われた歯を補った診断ワックスアップは、計画段階で重要な情報を提供します。

咬合面、力の分布、インプラントの好ましい部位の分析と評価に基づいて、計画を最適化できます。

診断ワックスアップとX線写真により、計画された補綴物の構築を最適な方法でサポートするために、インプラントの位置、角度、サイズを計画することができます。

インプラントの設置を補助するために、サージカルガイドを作製して手術中に使用することができます。

### コンピュータガイド治療計画

三次元イメージング手順に基づいたデジタル治療計画により、治療を正確に計画でき、インプラント埋入手順が予測可能で、正確になります。

DSインプラントのガイド付き手術は、シムプラントソフトウェアを使用したデジタル治療計画と、シムプラント セーフガイドを使用したガイド付きインプラント設置のための完全なソリューションを提供します。

### 3. 印象手順

#### インプラントレベルの印象

##### インプラントピックアップEVデザイン

インプラントピックアップは、オープントレイ印象手順に使用されます。このデザインは、軟組織の解剖学的構造を捉えるためのさまざまな推奨技術をサポートしています。



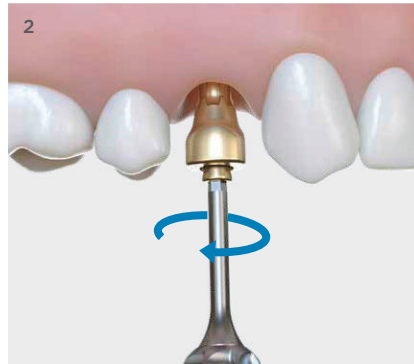
##### インプラントピックアップEVデザイン

- チタン合金
- 自己ガイド型の印象コンポーネント。正しく装着された場合にのみインプラントにかみ合います。
- 片手操作
- すべてのインデックスオプションをサポートします；1ポジションのみ、6ポジション、インデックスなし
- 安全な取り扱いのための一体型ピン
- スプリントの可能性を考慮したデザイン
- 色分け

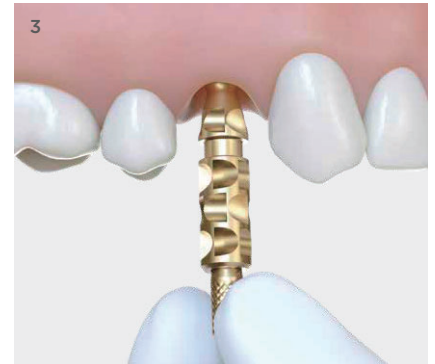
#### 臨床手順 - オープントレイ



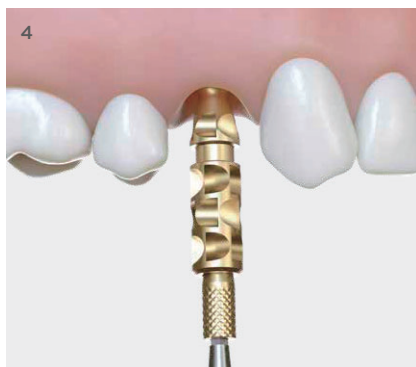
- 標準またはカスタマイズされたオープン印象トレイを準備して使用します。



- ヒーリングコンポーネントを取り外し、インプラントの安定性を確認します。



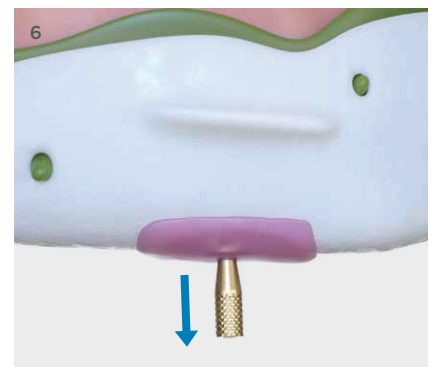
- 適切な長さのピックアップを選択してください。
- ピックアップをインプラントに手指で接続します。



- ヘックスドライバーを用いて、手動締め付けトルク (5 ~ 10 Ncm) でインプラントピックアップを固定します。



- ピックアップの周囲に印象材を塗布し、その後、トレイに充填します。
- 印象採得します。



- 印象材が固まったら、ピンを緩めて印象を取り外します。
- 印象を除去する前に、ピンがインプラントから完全に外れていることを確認してください。
- ピックアップが正しく安定して保持されているかどうか、印象を確認します。



## インプラントトランスファーEV

インプラントトランスファーは、  
クローズドトレイ印象処置に使用されます。



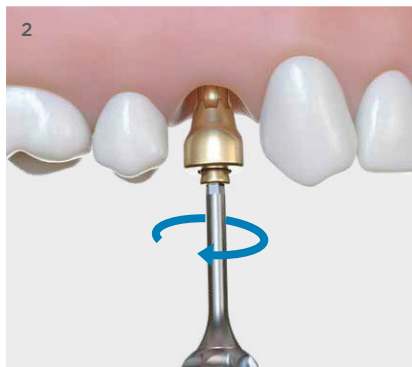
## インプラントトランスファーEV

- チタン合金
- 自己ガイド型の印象コンポーネント。正しく装着された場合にのみインプラントにかみ合います。
- 片手操作
- すべてのインデックスオプションをサポートします；1ポジションのみ、6ポジション、インデックスなし。
- 色分け

## 臨床手順 - クローズドトレイ



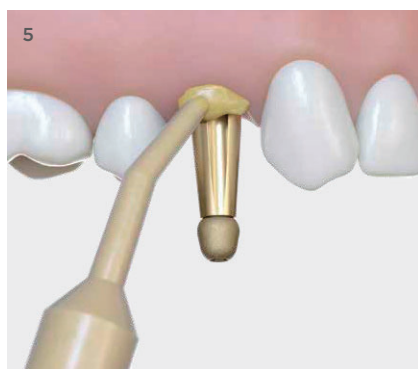
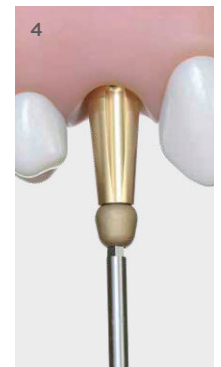
- 1
- 標準またはカスタマイズされたクローズド印象トレイを準備して使用します。



- 2
- ヒーリングコンポーネントを取り外し、インプラントの安定性を確認します。



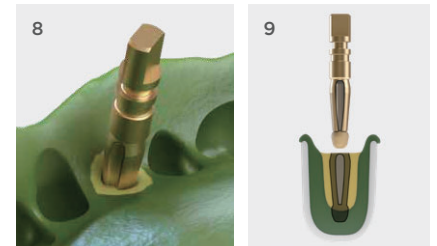
- 3
- 適切な長さのトランスファーを選択します。
  - トランスファーをインプラントに手で接続します。
  - ヘックスドライバーを使用して、手動の締め付けトルク (5 ~ 10 Ncm) でトランスファーを固定します。



- 5
- トランスファーの周囲に印象材を塗布し、トレイに充填します。
  - 印象採得します。



- 6
- 印象材が固まったら、印象を取り外し、トランスファーのスクリューを外します。
  - 印象を確認し、トランスファーを正しく安定して保持するのに十分な印象材があることを確認します。



- 7
- レプリカをトランスファーに接続してから、注意深く印象中に再挿入します。
  - 正しい位置を確保し間違いを避けるために、クリニックでインプラントレプリカに接続されたインプラントトランスファーを印象に戻すことをお勧めします。
  - 複数の異なる接続またはトランスファー長がある場合は、それぞれが識別されて歯科技工所に伝えられていることを確認してください。
  - インプラントトランスファーの凹部を印象で作成した凸部に向けて押し込みます。
  - 印象に装着したら、トランスファーをゆっくり回転させて、正しい位置を確認します。
- 8
- 9

### インプラントレプリカEV

インプラントレプリカとラボアバットメントスクリューは、インプラントレベルの修復物を歯科技工所で効率的かつ安全に作製するために必要です。



#### インプラントレプリカEV

- チタン合金
- 色分け
- 単回使用



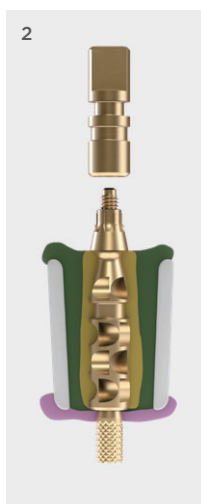
#### ラボアバットメントスクリューEV

- チタン合金
- 主に歯科技工士が歯科技工所で使用します。
- インプラントレプリカにのみ適合します。
- ガイドチップが効率的なハンドリングをサポートします。
- 色分け

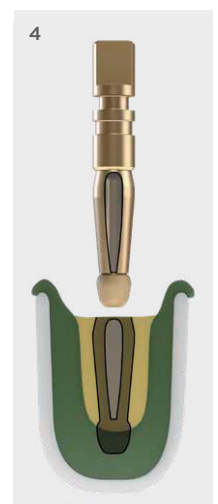
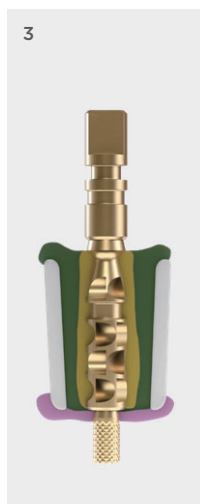
### 歯科技工所での手順



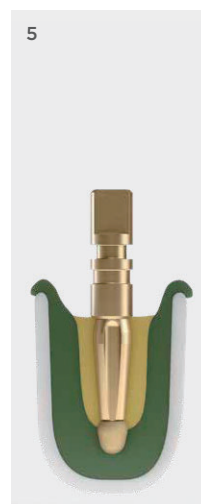
- 印象コンポーネントに対応する適切なレプリカを選択します。色分けを、臨床医からの情報と合わせて使用してください。



- レプリカをピックアップ方向で、正確な位置に注意深く配置します。
- 手で締めてレプリカをピックアップピンに固定します。
- インプラントレプリカの周囲に軟組織マスクを用いて印象採得します。
- 高品質の石膏を印象中に流し込みマスターモデルを作製します。



- レプリカに接続されているトランスファーを印象中に注意深く再挿入します。
- インプラントレプリカの周囲に軟組織マスクを用いて印象採得します。
- 高品質の石膏を印象中に流し込みマスターモデルを作製します。



## 4. セメント固定修復物

### 暫間補綴のソリューション



#### 単一 / 複数ユニット

- テンプアバットメントEV
- テンプデザインEV

### 最終補綴のソリューション



#### 単一 / 複数ユニット

- タイデザインEV
- TiベースEV

## アバットメントの概要

暫間アバットメント		頁	インデックス オプション	臨床用途	特徴および利点
テンプアバットメントEV チタン合金		17 24		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単一无歯、部分無歯、完全無歯の状態</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々のビルドアップ技術用にデザインされています。</li> <li>• 長期の仮修復用にデザインされています。</li> </ul>
テンプデザインEV* チタン合金 / PEEKプラスチック		25		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単一无歯、部分無歯、完全無歯の状態</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 削合技術用にデザインされています。</li> <li>• 軟組織の成形を容易にします。</li> <li>• 審美的な暫間補綴用に開発されています。</li> <li>• 最長180日間の臨床使用が推奨されます。</li> <li>• 歯科工所やチェアサイドで加工可能です。</li> </ul>
最終アバットメント		頁	インデックス オプション	臨床用途	特徴および利点
タイデザインEV チタン合金		19 50		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単一无歯、部分無歯、完全無歯の状態</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 丸形 - ほとんどの修復状況に対応できるようにデザインされています。</li> <li>• 三角形 - 主に三角形の切歯と犬歯用です。</li> <li>• 角度付き - 修復角度が好ましくないインプラントを補うオフセット状況用です。</li> <li>• 色分け</li> </ul>
TiベースEV チタン合金		20 35		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単一/部分無歯の状況</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高い機械的完全性</li> <li>• 強力で安定したベース</li> <li>• 回転防止機能のための2つの平らな側面が備わっています。</li> </ul>

\*各種のアストラテックインプラントシステム EV製品

## 暫間修復手順

### テンプアバットメントEV

インプラントレベルでのテンポラリーレストレーションのベースとして機能します。

また必要に応じてさらに軟組織に審美的な形態付与をすることもできます。



### テンプアバットメントEV

- チタン合金
- ビルドアップ技術用にデザインされています。
- 長期の仮修復用にデザインされています。
- 色分けされたアバットメントスクリー

### 歯科技工所での手順 - テンポラリークラウンの製作



- 1
- 適切なアバットメントを選択し、適宜調整します。
  - 暫間修復物を作製する際には、ラボ用アバットメントスクリーを使用します。
  - 安全かつ簡単に調整できるように、アバットメントは常にレプリカに取り付け、器具で保持してください。

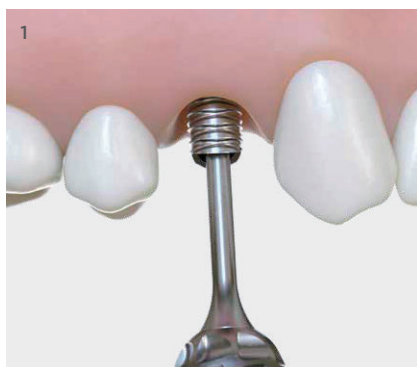


- 2
- プラスチック製のクラウンシェルまたは義歯を選択します。
  - アバットメントにフィットするようにクラウンを調整し、マージンの形状を調整します。

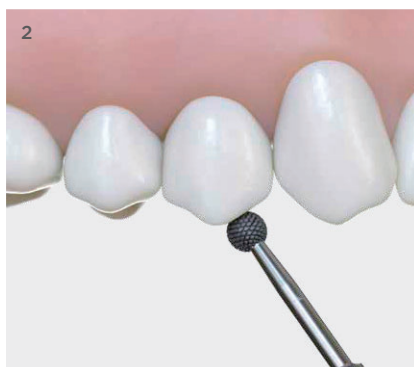


- 3
- 修復物を仕上げて研磨し、モデルでの最終試用を行います。

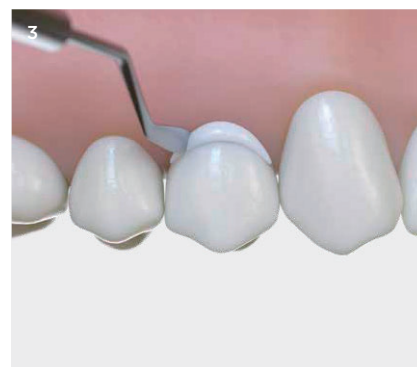
### 臨床手順 - テンポラリークラウンの装着



- 1
- ヘックスドライバーを使用してアバットメントのスクリーを固定する前に、アバットメントを正しい位置に手で取り付けます。
  - ドライバーハンドルとマシン用ヘックスドライバー、トルクレンチを使用し、推奨トルク 15 Ncmで締め付けてください。



- 2
- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
  - 適宜修正します。



- 3
- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。
  - クラウンをアバットメントにセメント固定し、余分なセメントをすべて注意深く取り除きます。
  - セメンテーションは、選択した修復物に合わせて、製造元の指示に従ってください。

ラボ用アバットメントスクリーは、インプラントレプリカでの使用専用が開発されています。臨床用アバットメントスクリーは歯科技工所では使用しないでください。

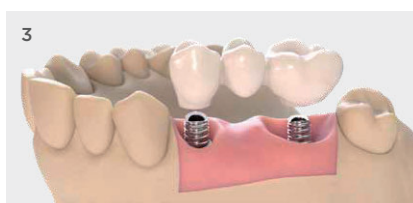


臨床医によるチェアサイドの調整のため、および口腔内研削を避けるために、ラボ用アバットメントスクリーを適切なインプラントレプリカと併用することをお勧めします。

## 歯科技工所での手順 - テンポラリーブリッジの製作



- 適切なアバットメントを選択し、適宜調整します。
- 仮修復物を作製する際には、ラボ用アバットメントスクリューを使用します。
- 安全かつ簡単に調整できるように、アバットメントは常にレプリカに取り付け、器具で保持してください。

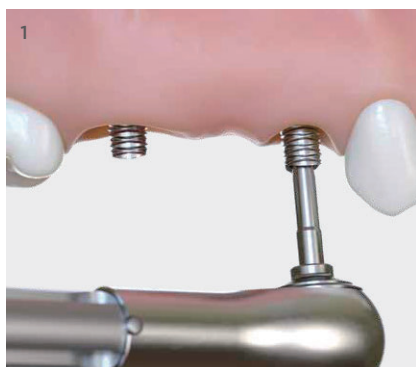


- コンポジットベニアまたはプレハブ歯とアクリルを用いて、補強も含めてブリッジを構築します。

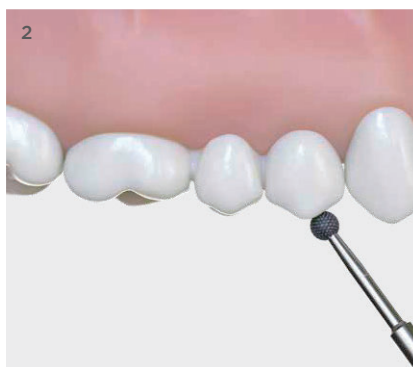


- 修復物を仕上げて研磨し、モデルでの最終試用を行います。

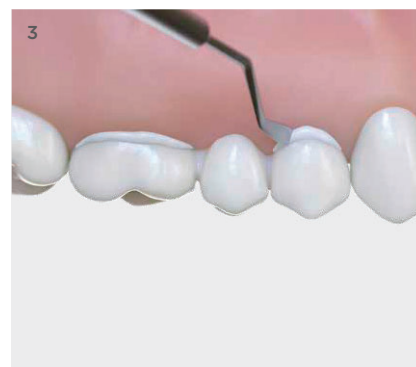
## 臨床手順 - テンポラリーブリッジの装着



- ヘックスドライバーを使用してアバットメントのスクリューを固定する前に、アバットメントを正しい位置に手で取り付けます。
- ドライバーハンドルとマシン用ヘックスドライバー、トルクレンチを使用し、推奨トルク 15 Ncmで締め付けてください。



- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜調整します。



- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。
- ブリッジをアバットメントにセメント固定し、余分なセメントをすべて注意深く取り除きます。
- セメンテーションは、選択した修復物に合わせて、製造元の指示に従ってください。

## 最終補綴物製作

### タイデザインEV

タイデザインは、あらかじめ解剖学的にデザインされた2ピースのアバットメントです。



### タイデザインEV

- チタン合金
- 円形 - 大半の歯形状に合わせてデザインされています。
- トライアングラー形状 - 主に切歯や犬歯に対応
- アングルド - 前歯部と臼歯部の両方の、補綴的に困難な位置にあるインプラントをサポート。
- カラーコード化されたアバットメントとアバットメントスクリュー

### 歯科技工所での手順



- 1
- 適切なアバットメントを選択します。
  - 安全かつ簡単に調整できるように、常にアバットメントをレプリカに取り付け、器具で保持してください（「TiDesign の調整ガイドライン」セクション（50頁）の、アバットメントの取り扱い手順に関する詳細を参照してください）。

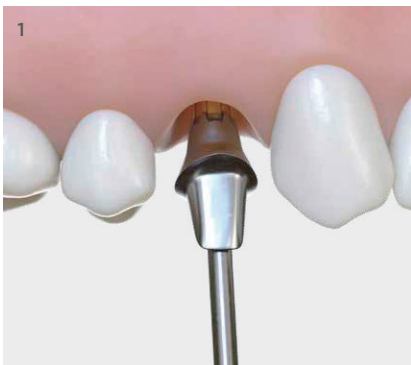


- 2
- クラウンを作製します。

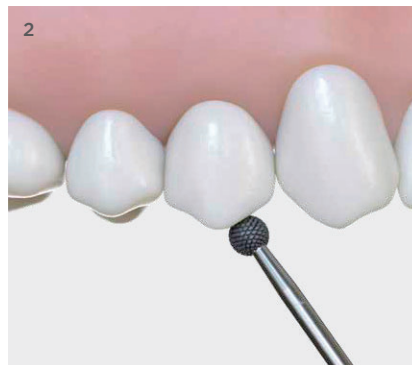
ラボ用アバットメントスクリューは、インプラントレプリカでの使用専用が開発されています。臨床用アバットメントスクリューは歯科技工所では使用しないでください。



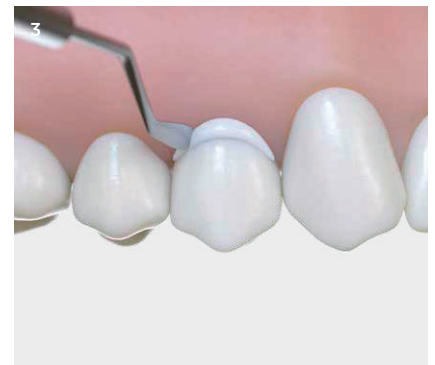
### 臨床手順



- 1
- ヘックスドライバーを用いてアバットメントスクリューを固定する前に、アバットメントを正しい位置に手で取り付けます。
  - ドライバーハンドルとマシン用ヘックスドライバー、トルクレンチを用いて、推奨トルク（25 Ncm）で本締めしてください。



- 2
- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
  - 適宜修正します。



- 3
- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。
  - クラウンをアバットメントにセメント固定し、余分なセメントをすべて注意深く取り除きます。
  - セメンテーションは、選択した修復物に合わせて、製造元の指示に従う必要があります。

## TiベースEV

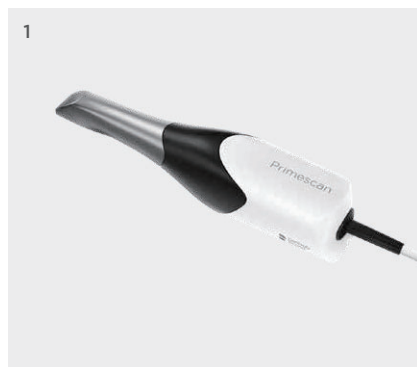
Tiベースでは、既製チタンアバットメントと、個別にデザインされたセラミックコアの組み合わせになります。



### TiベースEV

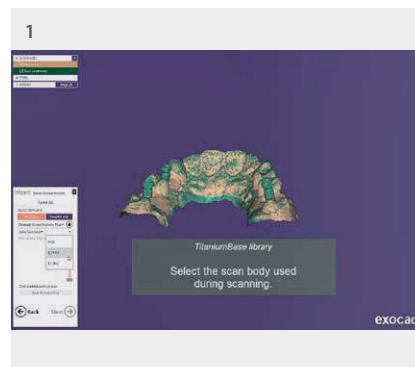
- チタン合金
- Tiベースには、回転防止機能のための2つの平坦な側面が備わっています。
- カラーコード化されたアバットメントスクリー

## 臨床手順



- デジタル印象（口腔内スキャン）または従来の印象を採得し、症例を提携歯科技工所に送ります。

## 歯科技工所での手順



- <https://www.orderdigitalsolutions.com/>のDentsply Sirona インプラントライブラリーに関するヘルプのページに入ります。
- TitaniumBaseライブラリをダウンロードして、その使用方法の詳細を確認してください。
- このライブラリは、TitaniumBaseでの修復物をデザインする際に使用されます。このライブラリは、3Shape およびExocadデザインソフトウェアで使用することができます。
- 歯科技工所では、臨床医からのスキャンを使用するか、従来の印象から作成されたモデルをスキャンします。正しいスキャンボディを使用し、スキャン手順に従うことが重要です。
- ダウンロードしたライブラリについてのユーザーガイドの指示に従って、インプラントの位置を検出して修復物をデザインすることができます。
- セラミックコアをデザイン・作製します。



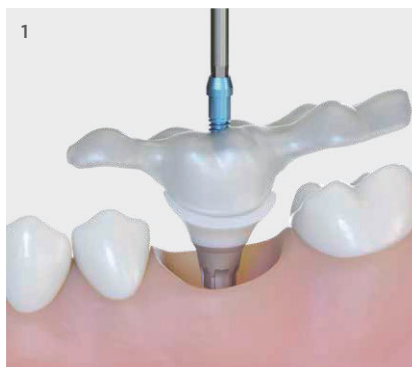
- ラボ用アバットメントスクリーを用いて、インプラントレプリカ中にTiベースを取り付けてください。
- スクリューアクセスチャンネルを密閉します。
- セメント接着前に、表面を準備します。
- ベースの円錐部分を改造したり、プラスト処理したり、触れたりしないでください。
- セラミックトップをベース上にセメント固定します。セメンテーション技術は修復物に合わせて、製造元の指示に従ってください。
- 余分なセメントをすべて取り除きます。

### 歯科技工所での手順

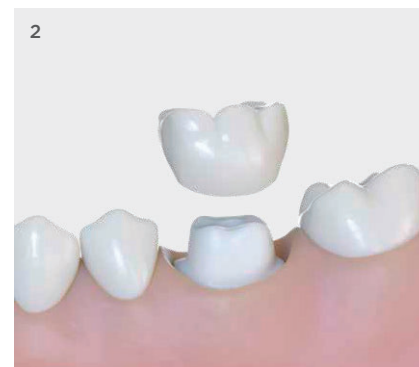


- クラウンとトランスファーキーを作製します。

### 臨床手順



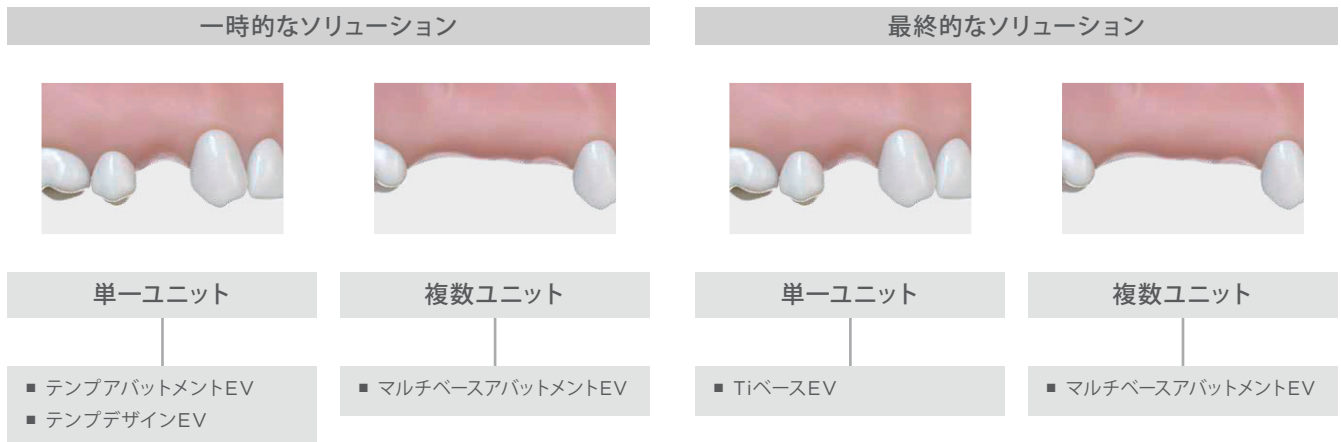
- 正確な位置を確保するために、アバットメントスクリューの本締め前に、トランスファーキーを使用します。
- アバットメントを取り付け、修復用ドライバーハンドルとヘックスドライバー、トルクレンチを用いて推奨トルク (25 Ncm) で締めます。



- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。
- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。
- 最終修復物をアバットメントにセメント固定します。セメンテーションの方法は修復物に合わせて、製造元の指示に従ってください。
- 余分なセメントをすべて注意深く取り除きます。



## 5. スクリュー固定修復物



### アバットメントの概要

暫間アバットメント		頁	インデックス オプション	臨床用途	特徴および利点
<b>テンプアバットメントEV</b> チタン合金		17 24		<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクリュー固定修復物（単一歯のみに限定）</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々の築盛用のデザイン。</li> <li>• 長期的な暫間修復用にデザインされています。</li> </ul>
<b>テンプデザインEV*</b> チタン合金 / PEEKプラスチック		25		<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクリュー固定修復物（単一歯のみに限定）</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 削合による形態調整可能なデザイン。</li> <li>• 軟組織の形成を容易にします。</li> <li>• 審美的な暫間補綴用に開発されています。</li> <li>• 最長180日間の臨床使用が推奨されます。</li> <li>• 歯科技工所やチェアサイドで加工可能です。</li> </ul>
最終アバットメント		頁	インデックス オプション	臨床用途	特徴および利点
<b>マルチベースアバットメントEV（ストレート）</b> チタン合金 PEEKプラスチックホルダー付き		26		<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクリュー固定式複数ユニット修復物のみ</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大角度42°までブリッジを挿入可能。</li> <li>• 1つの補綴物の接合部で3つのインプラント接合部に対応。</li> <li>• 取り付けを簡単にするためにアバットメントにプラスチック製ホルダーがあらかじめ取り付けられた状態で送られます。</li> </ul>
<b>マルチベースアバットメントEV、角度付き</b> チタン合金 PEEKプラスチックホルダー付き		26	 		
<b>TiベースEV</b> チタン合金		20 35		<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクリュー固定修復物（単一歯のみに限定）</li> <li>• 口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• セメントまたはスクリー固定修復物用にデザインされています。</li> <li>• 回転防止用に2つの平らな側面が付いています。</li> </ul>

\*各種のアストラテックインプラントシステム EV 製品

## 暫間修復手順

### テンプアバットメントEV

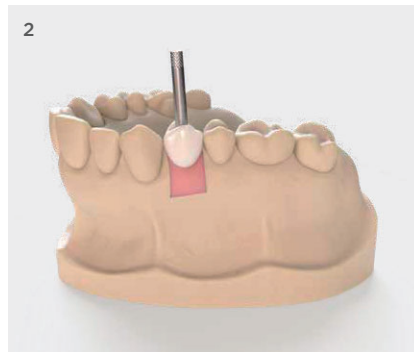
コンポジットレジンで積層して、クラウン形態をアバットメント上で築盛します。  
または既製のプラスチックシェルクラウン/義歯を調整後にアクリリックレジンを使用して固定します。



### テンプアバットメントEV

- チタン合金
- 個々の築盛用のデザイン
- 長期的な暫間修復用にデザインされています。
- カラーコード化されたアバットメントスクリー

### 歯科技工所での手順 - テンポラリークラウンの製作

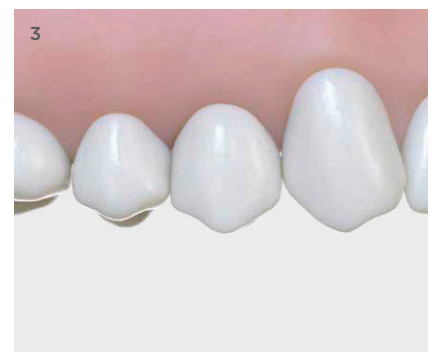
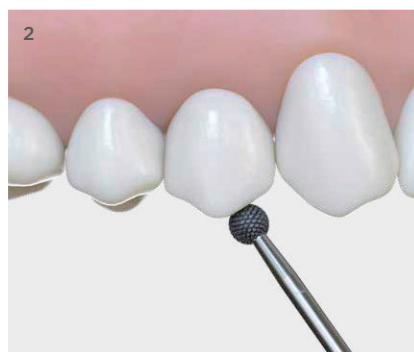
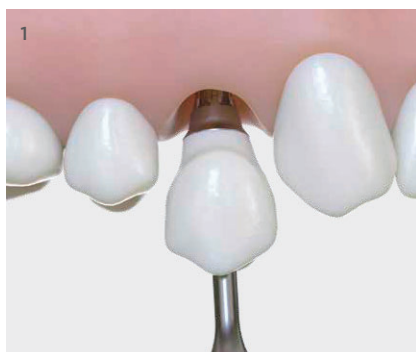


- 適切なアバットメントを選択し、適宜調整してください。
- 仮修復物を作製する際には、ラボ用アバットメントスクリーを使用します。
- 安全かつ簡単に調整できるように、アバットメントは常にレプリカに取り付け、器具で保持してください。

- コンポジットレジンでアバットメント上にクラウン構造を築盛します。スクリーアクセスチャンネルを開いたままにしてください。
- あるいは、プラスチック製クラウンシェルまたは義歯を選択し、アバットメントに装着させるために調整します。
- アバットメント上にアクリルでクラウンを仕上げます。スクリーアクセスチャンネルを開いたままにしてください。

- 最後にモデルに試適します。
- 修復物を調整し、研磨します。

### 臨床手順 - テンポラリークラウンの装着



- ヘックスドライバーを用いてアバットメントスクリーを固定する前に、暫間修復物を手で取り付けます。

- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。

- 修復用ドライバーハンドルとマシン用ヘックスドライバー、トルクレンチを使用して、推奨トルク (15 Ncm) で最終締め付けします。
- スクリー溝に適切な材料を充填する前に、スクリーヘッドを覆ってください。

ラボ用アバットメントスクリーは、インプラントレプリカでの使用専用が開発されています。臨床用アバットメントスクリーは歯科技工所では使用しないでください。



臨床医によるチェアサイドの調整のために、また、口腔内研削を避けるため、ラボ用アバットメントスクリーを適切なインプラントレプリカと併用することを推奨します。

## テンプデザインEV

インプラントレベルでのテンポラリーレストレーションのベースとして機能します。

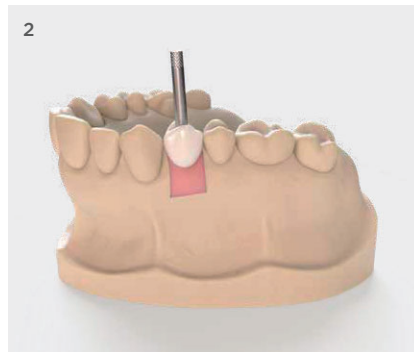
また必要に応じてさらに軟組織に審美的な形態付与をすることもできます。



### テンプデザインEV

- チタン合金 / PEEKプラスチック
- 削合による形態調整可能なデザイン
- 最長180日間の臨床使用が推奨されます。
- カラーコード化されたアバットメントスクリー

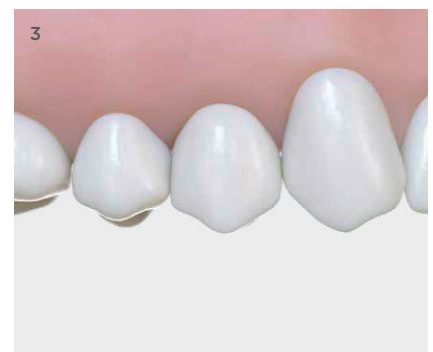
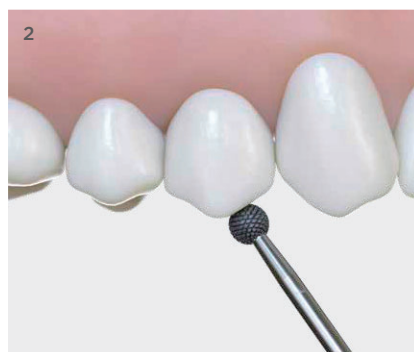
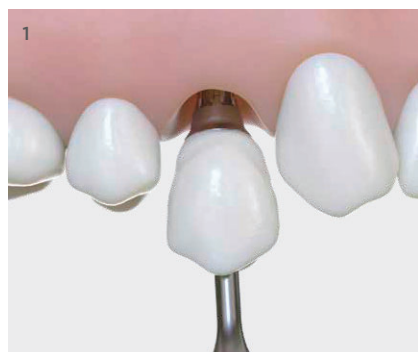
## 歯科技工所での手順 - テンポラリークラウンの製作



- アバットメントを試して調整用のマークを付けます。
- アバットメントのマーヅンを軟組織の形状と調和させ、コンポジットレヅンの保持ベースとして機能するようにアバットメントをデザインします。
- 安全かつ簡単に調整できるように、アバットメントは常にレプリカに取り付け、器具で保持してください。
- コンポジットレヅンでアバットメント上にクラウン構造を築盛します。スクリーアクセスチャンネルを開いたままにしてください。
- テンプデザインEVのPEEKプラスチック部分は、アクリリックレヅンで機械的に接着します。
- 仮修復物を作製する際には、ラボ用アバットメントスクリーを使用します。

- 最後にモデルに試適します。
- 修復物を調整し、研磨します。

## 臨床手順 - テンポラリークラウンの装着



- ヘックスドライバーを用いてアバットメントスクリーを固定する前に、暫間修復物を手で取り付けます。

- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。

- 修復用ドライバーハンドルとマシヅン用ヘックスドライバー、トルクレンチを使用して、推奨トルク (15 Ncm) で最終締め付けします。
- スクリーホールに適切な材料を充填する前に、スクリーヘッドを覆ってください。

テンプデザインEV は、スクリー固定修復物とセメント固定修復物のいずれにも適用できます。スクリー固定修復物は単一歯のみに限定されます。

ラボ用アバットメントスクリーは、インプラントレプリカでの使用専用が開発されています。臨床用アバットメントスクリーは歯科技工所では使用しないでください。



## 最終修復物製作

### マルチベースアバットメントEV マルチベースアバットメント (ストレートおよび角度付き)

- トップコーンによって、最大42°の非平行アバットメントへのブリッジ挿入が可能になります。
- すべてのアバットメントに同じ補綴プラットフォームとコンポーネントを使用します。



#### マルチベースアバットメントEV (ストレート)

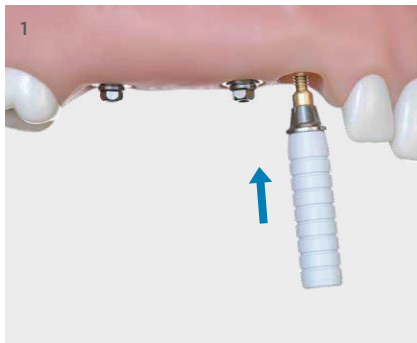
- PEEKプラスチックホルダー付きチタン合金
- ワンピースアバットメント
- インデックスのないアバットメントは、任意の回転位置に装着可能です。
- PEEKホルダーには8つの識別溝があります。



#### マルチベースアバットメントEV, 17°/30°

- PEEKプラスチックホルダー付きチタン合金
- 3つの部分で構成されます；アバットメント本体、事前に装着されたアバットメントスクリーおよび別個のヘッド部分が付属しています。
- インデックスのあるアバットメントは6つの異なる位置に装着可能です。
- インデックスのないアバットメントは、任意の回転位置に装着可能です。
- 17°アバットメントのPEEKホルダーには4つの識別溝があります。
- 30°アバットメントのPEEKホルダーには6つの識別溝があります。

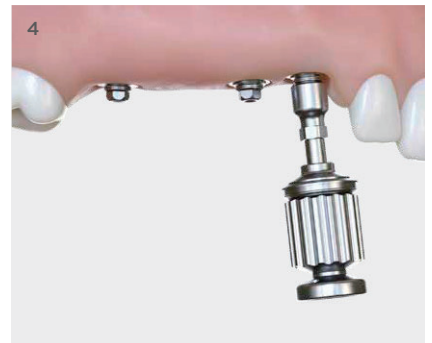
### 臨床手順 - ストレートアバットメント接続



- あらかじめ取り付けられたプラスチック製ホルダー中の選択されたアバットメントを持ち上げます。



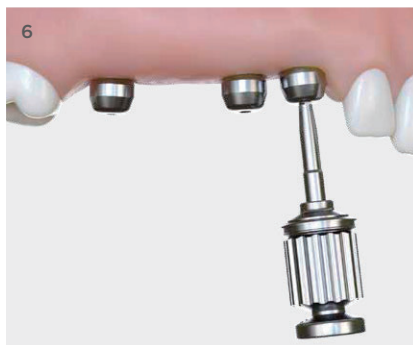
- ホルダーを用いて、アバットメントを手で装着し、固定します。
- バチンと折るようにホルダーを取り外します。



- マルチベースドライバー-EVを使用して、最初に手指で固定します。



- 修復用ドライバーハンドルをマルチベースドライバーおよびトルクレンチと一緒に使用して、推奨トルク (25 Ncm) で締め付けます。



- 指の軽い力 (5 ~ 10 Ncm) で、ヘックスドライバーを使用してヒールキャップをアバットメントに手指で装着します。

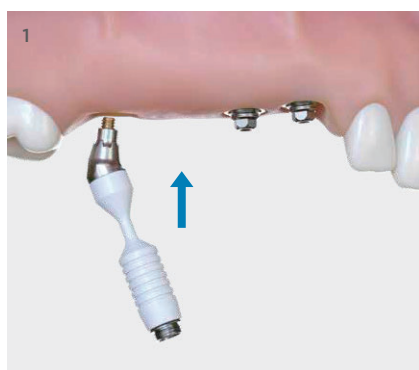
マルチベースドライバーは、マルチベースアバットメントの最終的な締め付けと取り外しに使用されます。



マルチベースアバットメント30°



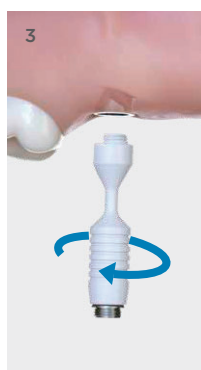
臨床手順 - 30° アバットメント接続



- 適切なアバットメントの角度と高さを選択します。
- アバットメントボディをインプラントに接続し、アバットメントを目的の位置まで回転させます。



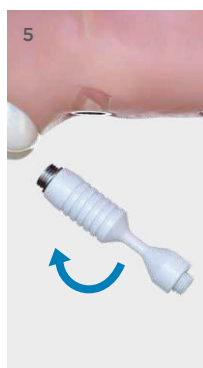
- フレキシブルホルダーを曲げて、アバットメントスクリューへのアクセスを容易にすることができます。



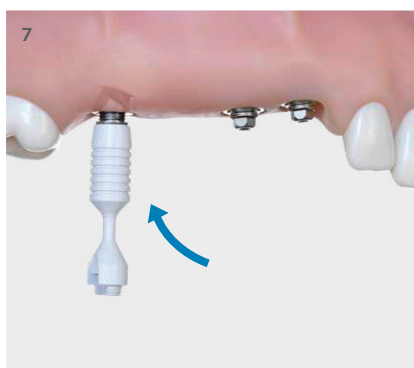
- ヘックスドライバーを用いて手指でアバットメントスクリューを仮締めします。
- ねじをゆるめてアバットメントボディからホルダーを取り外します。



- 修復用ドライバーハンドルをヘックスドライバー、トルクレンチと一緒に用いて、アバットメントスクリューを推奨トルク (25 Ncm) で締めます。



- アバットメントヘッド側にホルダーを180度回転させます。
- ホルダーを用いてアバットメントボディにアバットメントヘッドを取り付けます。



- パチンと折るようにホルダーを取り外します。



- 修復用ドライバーハンドルをマルチベースドライバーおよびトルクレンチと一緒に使用して、アバットメントヘッドを推奨トルク (25 Ncm) で締めます。

この手順はマルチベースアバットメントEV 17°にも適用されます。

### マルチベースピックアップ

アバットメントレベルピックアップは、オープントレイ印象処置に使用されます。



### マルチベースピックアップ

- ステンレス鋼
- スプリントの可能性を考慮した顕著な溝を備えた2ピースピックアップ

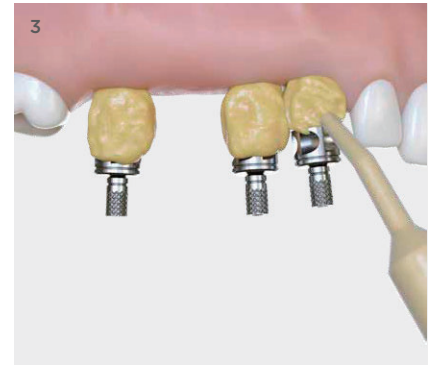
### 臨床手順 - オープントレイ



- 標準またはカスタマイズされたオープン印象トレイを準備して使用します。



- ヘックスドライバーを用いてピックアップを接続します。
- 手動締め付けトルク (5 ~ 10 Ncm) を用いてピックアップを固定します。



- ピックアップの周囲にエラストマー印象材を塗布します。



- 印象材を詰めたトレイを設置し、印象採得を行います。
- 印象材が固まったら、ピンを緩めて印象を取り外します。
- ピックアップが正しく安定して保持されているかどうかを確認します。

マルチベーストランスファーではクローズドトレイオプションも利用できます。



### マルチベースEVレプリカ

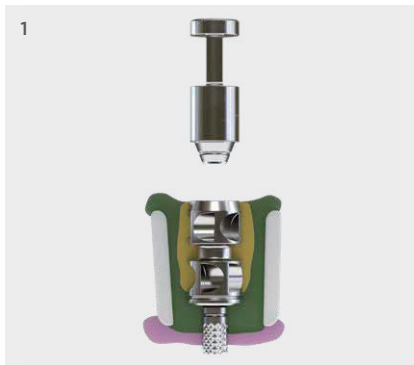
マルチベースEVレプリカは、歯科技工所でアバットメントレベルの修復物を効率的かつ安全に作製するために必要です。



#### マルチベースEVレプリカ

- ステンレス鋼
- 単回使用

### 歯科技工所での手順



- レプリカをピックアップに注意深く接続し、締めます。
- 手動締め付けトルク5 ～ 10 Ncmを使用してレプリカを固定します。



- レプリカの周囲にシリコンを塗布し、取り外し可能な軟組織マスクを使用して印象を複製する準備をします。
- 高品質の石膏を流し込みマスターモデルを作製します。

### マルチベースEVテンポラリーシリンダー

マルチベースEVテンポラリーシリンダーは、  
暫間ブリッジの基礎となります。



#### マルチベースEVテンポラリーシリンダー

- チタン合金
- 咬合力と側方力の両方をサポートするようにデザインされています。



#### マルチベースEVラボブリッジスクリー

- チタン合金



#### マルチベースEVラボアバットメントピン

- ステンレス鋼

### 歯科技工所での手順

1



- ラボブリッジスクリーまたはラボアバットメントピンを用いて、テンポラリーシリンダーをレプリカに取り付けます。
- シリンダーの適切な高さをマークし、マスターモデルからシリンダーを取り外し、マークに従って調整します。

2



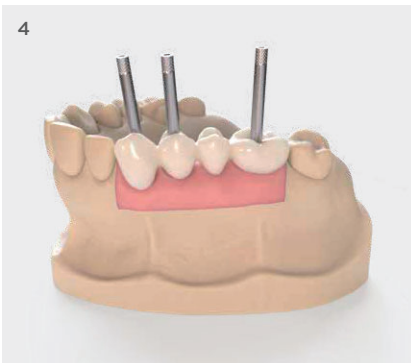
- 暫間修復物を作製する際には、ラボブリッジスクリーを使用してください。テンポラリーブリッジを口腔内に設置する際には、スクリーをマルチベースEVブリッジスクリーに交換してください。

3



- メタルもしくはファイバー強化ブリッジフレームワークを作製します。
- 審美性を高めるために、チタンシリンダー表面のマージン上に不透明なマスキングを施すことをお勧めします。
- プレハブ歯とアクリルまたはコンポジットベニアでブリッジを構築し、シリンダーのマージンが覆われないようにします。

4



- ラボアバットメントピンを用いて、ベニヤリング中にスクリーアクセスホールを開いたままにしてください。
- 硬化と研磨によりテンポラリーブリッジを完成させます。



### マルチベースEVテンポラリーシリンダー

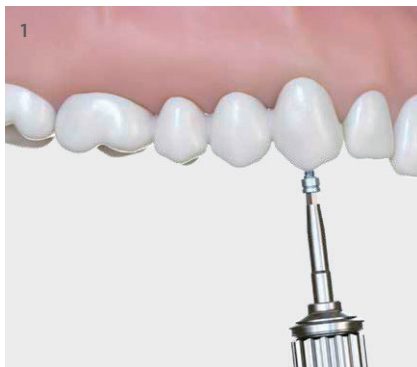
マルチベースEVテンポラリーシリンダーは、テンポラリーブリッジの基礎となります。



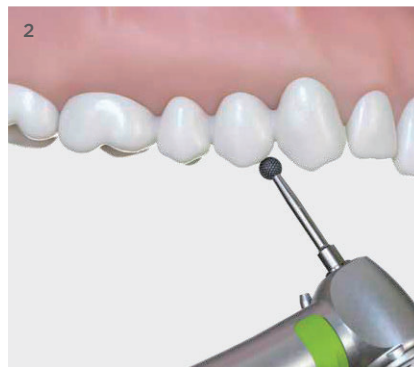
マルチベースEV  
ブリッジスクリュー

- チタン合金
- 陽極酸化 (ライトブルー)

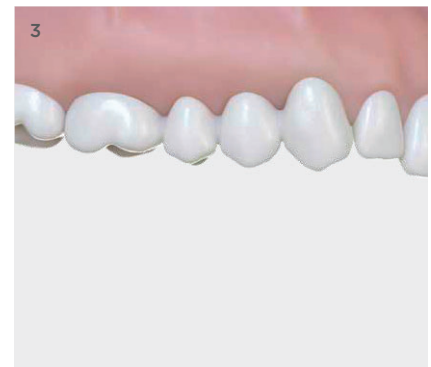
### 臨床手順



- ヘックスドライバーを用いて、ブリッジスクリューで修復物を取り付けます。



- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。



- ヘックスドライバーと補綴用ドライバーハンドルおよびトルクレンチを一緒に使用して、推奨トルク (15 Ncm) で締め付けます。
- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。

### マルチベースEVセミバーンアウトシリンダー

バーンアウトおよび鋳造プロセスを伴う従来のワックスアップ法に関するラボサイドの手順。



#### マルチベースEVセミバーンアウトシリンダー

- 金プラチナ合金 / POMバーンアウトプラスチック
- キャスティングに使用される合金は、セミバーンアウトシリンダー内の金プラチナ合金と適合性がなければなりません。

### 歯科技工所での手順

1



- ラボブリッジスクリーまたはラボアバットメントピンを用いて、セミバーンアウトシリンダーをレプリカ上に配置します。
- プラスチックスリーブの適切な高さをマークし、マスターモデルからシリンダーを取り外し、マークに従って調整します。
- プラスチックスリーブを調整する際には、シリンダーのスクリー設置部分を傷つけないよう注意してください。

2



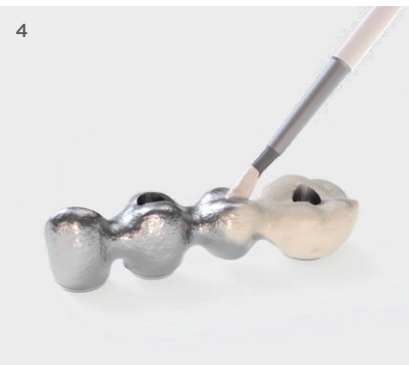
- 一般的な修復原則に従ってフレームワークをデザインします。利用可能なスペース、荷重条件、インプラントの位置、角度を考慮してください。
- PFM用にデザインされたワックスアップフレームワーク中にシリンダーを組み込みます。
- ラボアバットメントピンを用いて、ワックスアップ中にスクリーアクセスホールが開いたままにします。
- セミバーンアウトシリンダーのプラスチック部分が燃焼し、金のベースのみが成形金属フレームワーク中に組み込まれます。

3



- プレームワークを取り出します。スクリーホールに埋没材が残っていないことを確認し、スクリーの接合部が変形しないように、またスクリー座面の表面を修正しないようにしてください。
- プラスティング時にシリンダーの接続部分を傷つけないように注意してください。
- モデルに試し、パッシブフィットと適切なデザインを確認します。

4



- ボーセレンまたはアクリルレジンで金属製フレームワークを築盛します。

5



- ベニヤリング中にスクリーチャンネルへのアクセスを維持するためにラボアバットメントピンを使用します。

#### テクニカルデータ

##### 融解範囲:

1400-1490°C / 2552-2660°F

##### 合金の熱線膨張係数:

25-500°C / 77-932°F 12.3 (10-6/°C)

25-600°C / 77-1112°F 12.7 (10-6/°C)

##### ベース:

非酸化性金合金

Au 60%, Pd 20%, Pt 19%, Ir 1%

##### シリンダー:

POMバーンアウトプラスチック

マルチベースEVバーンアウトシリンダーでバーンアウトオプションを利用できます。バーンアウトシリンダーは完全燃焼し、キャスト時に好ましい合金と置き換えられます。

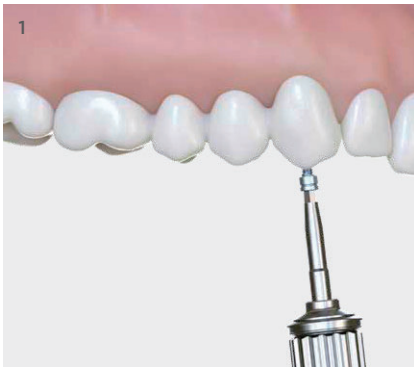




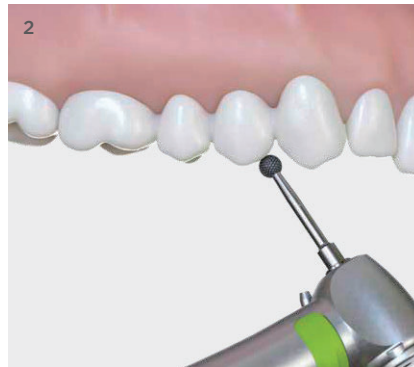
マルチベースEV  
ブリッジスクリュー

- チタン合金
- 陽極酸化 (ライトブルー)

臨床手順



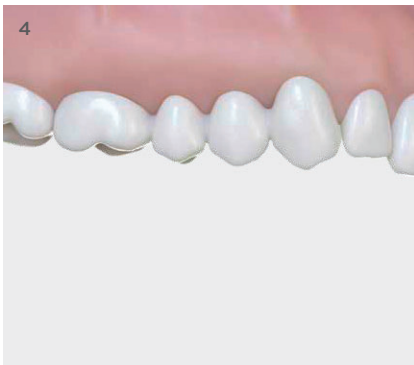
- 補綴物を試して、パッシブフィットしていることを確認してください。



- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。



- 補綴用ドライバーハンドルをヘックスドライバー、トルクレンチと一緒に使用して、ブリッジスクリューで修復物を推奨トルク値 (15 Ncm) で取り付けます。



- スクリューチャンネルに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。

## TiベースEV

Tiベースでは、既製チタンアバットメントと、個別にデザインされたセラミックコアの組み合わせになります。



### TiベースEV

- チタン合金
- Tiベースには、回転防止機能のための2つの平坦な側面が備わっています。
- カラーコード化されたアバットメントスクリー

## 臨床手順

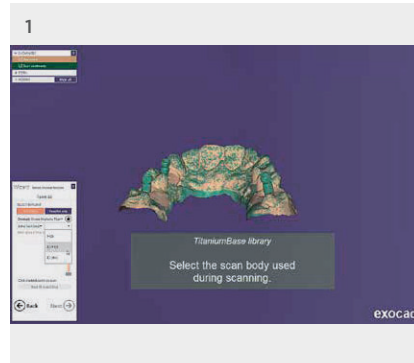
1



- デジタル印象（口腔内スキャン）または従来の印象を採得し、症例を提携歯科技工所に送ります。

## 歯科技工所での手順

1



- <https://www.orderdigitalsolutions.com/>のDentsply Sirona インプラントライブラリーに関するヘルプのページに入ります。
- Tiベースライブラリをダウンロードして、その使用方法の詳細を確認してください。
- このライブラリは、Tiベースでの修復物をデザインする際に使用されます。このライブラリは、3Shape およびExocadデザインソフトウェアで使用することができます。
- 歯科技工所では、臨床医からのスキャンを使用するか、従来の印象から作成されたモデルをスキャンします。正しいスキャンボディを使用し、スキャン手順に従うことが重要です。
- ダウンロードしたライブラリについてのユーザーガイドの指示に従って、インプラントの位置を検出して修復物をデザインすることができます。
- セラミッククラウンをデザイン・作製します。

2



- ラボ用アバットメントスクリーを用いて、インプラントレプリカ中にTiベースを取り付けてください。
- セメント接着前に、表面を準備します。
- ベースの円錐部分を改造したり、プラスト処理したり、触れたりしないでください。
- セラミッククラウンをベース上にセメント固定します。セメンテーション技術は修復物に合わせて、製造元の指示に従ってください。
- 余分なセメントをすべて取り除きます。

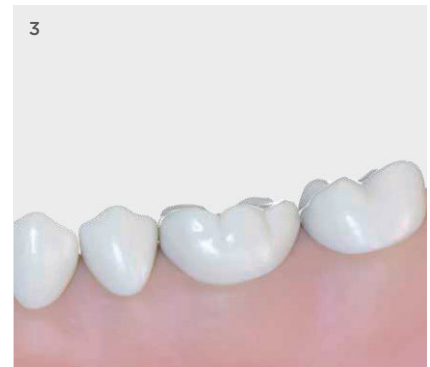
臨床手順



- ヘックスドライバーを用いてアバットメントスクリーを固定する前に、クラウンを手で取り付けます。



- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。



- 修復用ドライバーハンドルをヘックスドライバー、トルクレンチと一緒に使用して、推奨トルク値 (25 Ncm) で取り付けます。
- スクリューホールに適切な材料を充填する前に、スクリューヘッドを覆ってください。

## 6. フリクション固定式補綴物 Acruis

最終的なソリューション



単一ユニット

- コノメトリックアバットメントEV

### アバットメントの概要

最終アバットメント	頁	インデックス オプション	臨床用途	特徴および利点
コノメトリックアバットメントEV* チタン合金	38		<ul style="list-style-type: none"> <li>フリクション固定式補綴物（単一歯のみに限定）</li> <li>口腔内のすべての位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリクション固定式補綴物用にデザインされています。</li> <li>術者により取り外しが可能。</li> </ul>

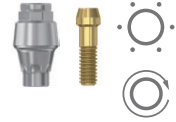
\*各種のアストラテックインプラントシステム EV 製品



## アバットメント接続

### コノメトリックアバットメントEV

コノメトリックアバットメントは単クラウンに使用され、固定保持力を備えています。臨床医による取り外しが可能です。



### コノメトリックアバットメントEV

- チタン合金
- 単歯欠損修復のみをサポート
- ストレート径 3.3mmアバットメントはワンピースアバットメントです。
- インデックスのないアバットメントは、任意の回転位置に装着可能です。

### 臨床手順 - アバットメント接続



- 適切なアバットメントを選択します。



- 選択したアバットメントを、ヘックスドライバーを用いてアバットメントスクリューで取り付けます。



- 補綴用ドライバーハンドルとヘックスドライバー、トルクレンチを一緒に用いて、推奨トルク (25 Ncm) で締め付けてください。

コノメトリックアバットメントドライバーは、ワンピースコノメトリックアバットメントの取り付け/取り外しに使用します。



## 即時暫間補綴

### コノメトリックテンポラリーキャップおよび コノメトリックヒーリングキャップ

テンポラリーキャップが、テンポラリークラウンの基礎として使用されます。  
 暫間クラウンが不要な場合、ヒーリングキャップを使用します。



#### コノメトリックテンポラリー キャップ

- Cap Ø 3.3 /4.6: チタン合金/  
PEEKプラスチック、
- Cap Ø 4.5/5.8: PEEKプラス  
チック
- 最長6ヶ月まで使用可能です。



#### コノメトリックヒーリングキャップ

- PEEKプラスチック
- 最長6ヶ月まで使用可能です。

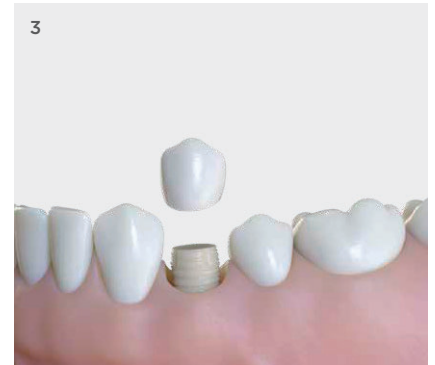
### 臨床手順 - 即時暫間補



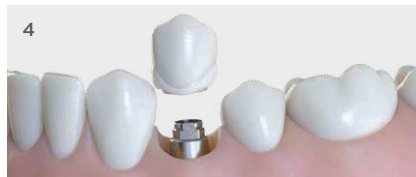
- 1
- テンポラリーキャップを取り上げ、挿入ツールに挿入します。
  - キャップを挿入する際には、わずかにひねって挿入ツールに正しく装着されていることを確認してください。



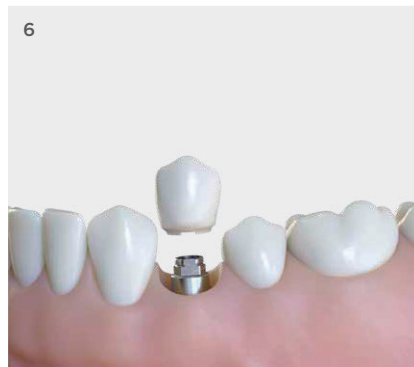
- 2
- テンポラリーキャップをアバットメントのインデックス部分に合わせて、所定の位置にはめ込みます。



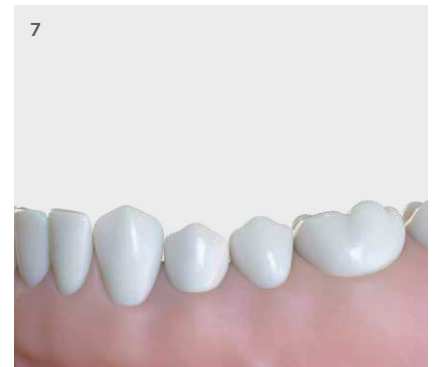
- 3
- お好みの手順に従って、テンポラリーキャップにクラウンを組み立てます。



- 4
  - 5
- テンポラリークラウンを取り外します。
  - 口腔外で修正し、研磨します。



- 6
- テンポラリークラウンをアバットメントのインデックス部分に合わせて、所定の位置にカチットとはめ込みます。



- 7
- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
  - 適宜修正します。



コノメトリックテンポラリーキャップ挿入ツールは、キャップをアバットメントまで運び、キャップを所定の位置にはめ込むために使用されます。

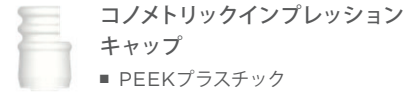
最終的なクラウンの装着を容易にするために、アバットメント周囲の粘膜からの干渉を避けることが重要です。粘膜が適切な形状に治癒できるように暫間クラウンをデザインすることで、最終修復のための十分なスペースを確保します。



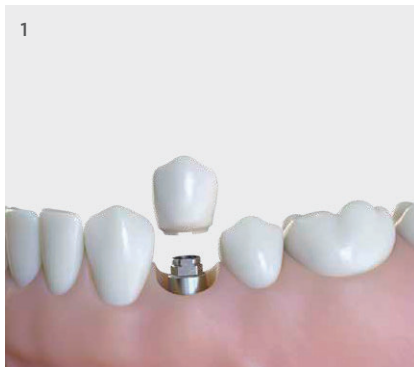
## クローズドトレイ印象

### コノメトリックインプレッションキャップ

アバットメント位置を把握するためにこのキャップを使用します。



### 臨床手順 - クローズドトレイ印象



- テンポラリークラウンを取り外します。



- インプレッションキャップをアバットメントのインデックス部分に合わせてしっかりと固定し、所定の位置にカチッとめ込みます。



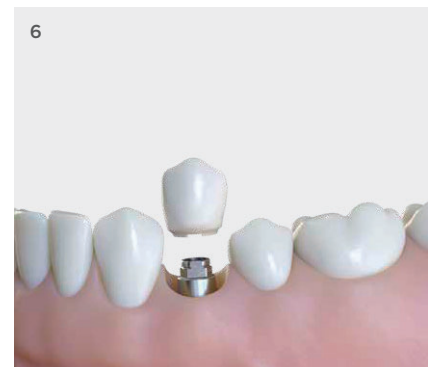
- クローズドトレイ印象テクニックを使用します。
- キャップの周囲に印象材を塗布し、その後にトレイに充填します。



- 印象採得します。



- キャップが正しく安定的に保持されているかどうか、印象を確認してください。
- 印象を歯科技工所に送ります。



- テンポラリークラウンを再び取り付けます。

インプレッションキャップを挿入する際には、所定の位置にはめ込む前に、正しいインデックス位置を確認してください。

## 最終補綴物製作

### コノメトリックアナログ

アバットメントに相当し、マスターモデルに使用されます。

### コノメトリックラボキャップ

歯科技工士がクラウンを作製する際にラボキャップを使用します。



コノメトリックアナログ

- ステンレス鋼
- 単回使用



コノメトリックラボキャップ

- チタン合金

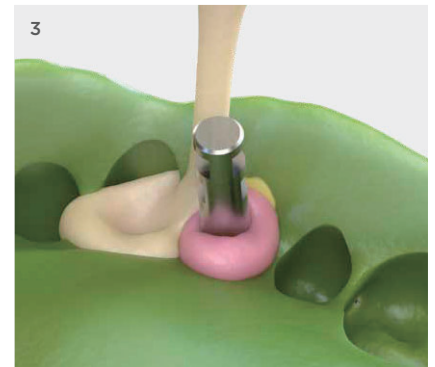
### 歯科技工所での手順 - クローズドトレイ印象



- 適切なコノメトリックアナログを印象内の正しい位置に配置します。



- 所定の位置にはめ込みます。



- 軟組織マスクを用いて、アナログの周囲に印象を準備します。



- 高品質の石膏を印象中に流し込みマスターモデルを作製します。

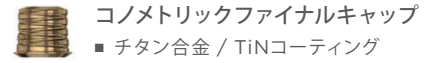


- ラボキャップをアバットメントアナログに装着します。



### コノメトリックファイナルキャップ

ファイナルキャップは、歯科技工士が最終的なクラウンを作製する際に使用します。

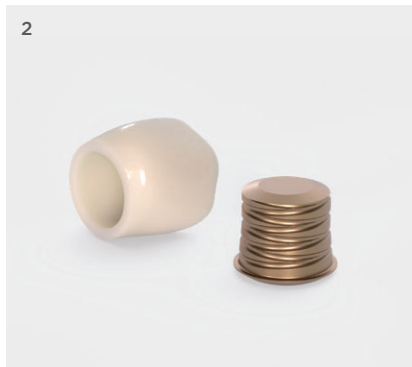


コノメトリックファイナルキャップ  
■ チタン合金 / TiNコーティング

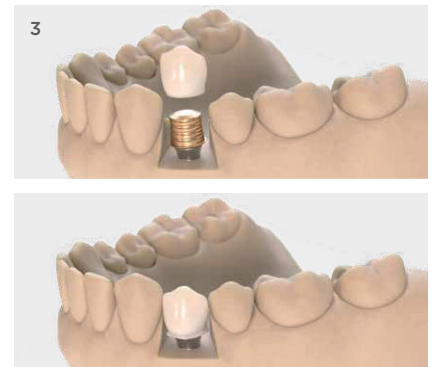
### 歯科技工所での手順 - 最終的なクラウン



- ラボキャップをベースとして、推奨技術によりセラミッククラウンを作製します。



- ファイナルキャップを洗浄し、セメント製造元の指示に従ってクラウンを準備します。



- アナログのインデックス部分の位置に合わせて、ファイナルキャップをアバットメントアナログ上に置きます。
- 軽く叩いて固定します。
- ファイナルキャップにクラウンをセメント固定します。
- クラウンの材質とファイナルキャップの窒化チタン表面に基づいてセメントを選択します。



- 余分なセメントを取り除き、磨きます。
- クラウンは歯科医院に送られます。

## クラウンの装着

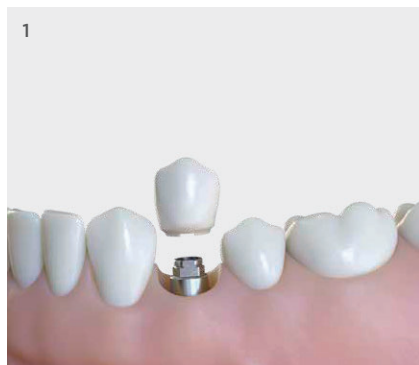
### コノメトリックフィクセーションツールチップコンベックス

コンベックス単回使用チップはコノメトリックフィクセーションツールの先端に適用します。チップには凹型とU字型のデザインもあります。



コノメトリックフィクセーションツールチップコンベックス  
 ■ PEEKプラスチック

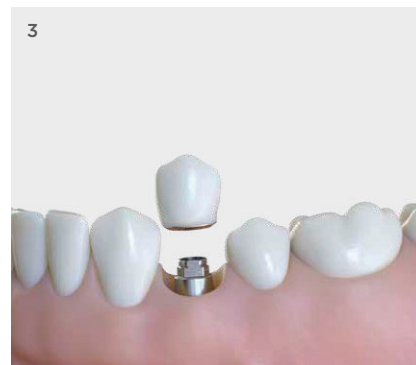
### 臨床手順 - クラウンの装着



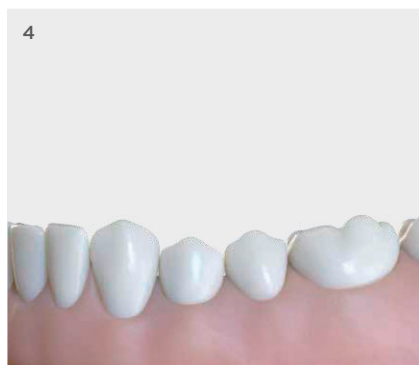
- テンポラリークラウンを取り外します。



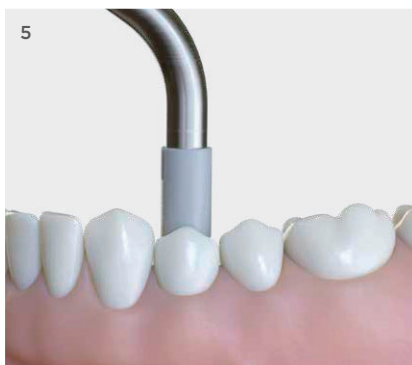
- クラウンの形状に合わせて、適切な単回使用チップを選び、コノメトリックフィクセーションツールに取り付けます。



- アバットメントのインデックスに合わせて最終的なクラウンを装着します。



- 隣接歯との接触や噛み合わせを確認します。
- 適宜修正します。



- フィクセーションツールをクラウンに置き、挿入方向に合わせます。
- カチッという音がしてスプリングが解放され、保持が得られるまで、フィクセーションツールをクラウン方向に押します。
- 手で確認し、クラウンがしっかりと固定されていることを確認してください。



コノメトリックフィクセーションツール  
 圧力と衝撃の組み合わせにより、最終キャップ / 最終クラウンとアバットメントの間の摩擦保持を得ます。

## 7. 付録

### トルクレンチEV

トルクレンチと修復用ドライバーハンドルを併用して、アバットメントスクリューおよび/またはブリッジスクリューを締め付けます。

トルクレンチは、サージカルドライバーハンドルと併用すると、インプラントの取り付け、調整、取り外しにも使用できます。

#### 適用可能な機器

- ヘックスドライバー
- マルチベースドライバー
- トルクレンチEV 補綴用ドライバーハンドル
- トルクレンチEV 補綴用ドライバーハンドル (低)
- トルクレンチEV サージカルドライバーハンドル
- トルクレンチEV 補綴用ドライバーハンドル4x4 (低)



- コンポーネントを押し込み、カチッと音がするまで反対方向に回して、レンチのヘッドと本体を組み立てます。



- ヘックスドライバーをドライバーハンドルに取り付けてから、カチッと音がするまでレンチに挿入します。



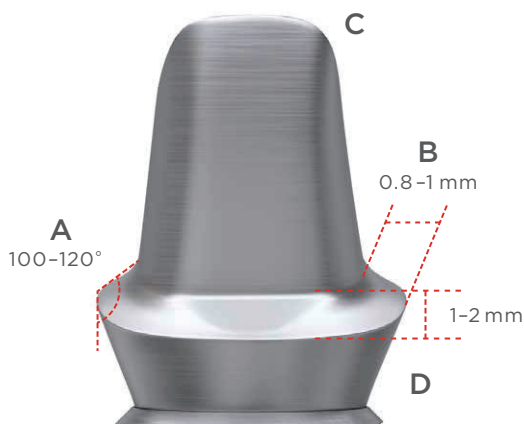
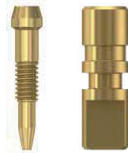
- ドライバーハンドルの上部に指をかけて、安定させて所定の位置に保ちます。
- 目的のトルクに達するまで、トルクレンチのアームを矢印方向にゆっくりと引きます。

トルクレンチのアームが、スケールの端を超えないようにしてください。トルク測定値が不正確となる可能性があります。レンチヘッドの矢印は、レンチが機能する方向を示します。



## 調整ガイドライン

### タイデザインEV



- ラボアバットメントスクリューを用いてアバットメントをインプラントレプリカに取り付け、器具で保持します。
  - 修復物を適切にサポートするために、ショルダーまたは面取りの前処理を計画します。チタン専用のグラインダーを使用してください。
- A. 最終修復物の準備をする際には、ショルダーまたは面取りの前処理は約100～120°の範囲にする必要があります。
  - B. 0.8 ～ 1mmの-marginシェルフ幅を維持します。
  - C. アバットメントと修復物が良好にフィットするように、鋭利なエッジや角を避けてください。
  - D. 軟組織レベルの直下に補綴マージンを作製します。
- アバットメントの強度を確保するために、残存する壁の最小厚を0.5mm 以上に維持してください。
  - 最終的なクラウンマージン下を不注意によって研削した場合は、研磨する必要があります。
  - 調整時には、アバットメントの接続部分を傷つけないようにしてください。一般的には、接続部分の1mm上でアバットメントの削合を止めて、その領域での急激な変化を避けることが推奨されます。  
ブラスト、研削、切断、研磨は、円錐部分、インデックス部分、またはアバットメントのスクリュー座面では行わないでください。



一般的名称	販売名	承認/認証/届出番号	クラス分類
歯科用インプラントフィクスチャ	DSインプラント プライムテーパー	30500BZX00120000	III
歯科用インプラントアバットメント	DS インプラント アバットメント	30500BZX00118000	III
歯科用インプラントアバットメント	DS インプラント ヒーリングアバットメント	30500BZX00119000	III
歯科用インプラントアバットメント	テンプレザインEV	22900BZX00113000	III
歯科用インプラントアバットメント	チタンベース EV	30100BZX00233000	III
歯科用インプラントアバットメント	DS インプラント マルチベースアバットメント	30500BZX00117000	III
歯科用インプラントフィクスチャ	DS インプラント プライムテーパー	30500BZX00120000	III
デジタル印象採得装置	セレック プライムスキャン AC	30100BZX00044000	III
歯科用インプラントアバットメント	コノメトリックアバットメントEV	30200BZX00194000	III
歯科インプラント用上部構造材	マルチベース 上部構造材	305AGBZX00001000	II
歯科インプラント用上部構造材	コノメトリックキャップ	302AGBZX00041000	II
歯科インプラント補綴用器具	DSインプラント 補綴用器具	13B1X10236Y05700	I
歯科インプラント補綴用器具	アトランティス FLO	13B1X10236Y05530	I
歯科インプラント技工用器材	DSインプラント 技工用器具	13B1X10236Y05710	I
歯科インプラント補綴用器具	マルチベース 補綴用器具	13B1X10236Y05720	I
歯科インプラント補綴用器具	プロテクションスリーブ	13B1X10236Y05740	I
歯科インプラント技工用器材	マルチベース 技工用器具	13B1X10236Y05730	I
歯科インプラント補綴用器具	オッセオスピードEV 補綴用器具	13B1X10236Y05410	I
歯科インプラント補綴用器材	コノメトリックアバットメント 補綴用器具	13B1X10236Y05600	I
歯科インプラント技工用器材	コノメトリックアバットメント 技工用器具	13B1X10236Y05590	I